

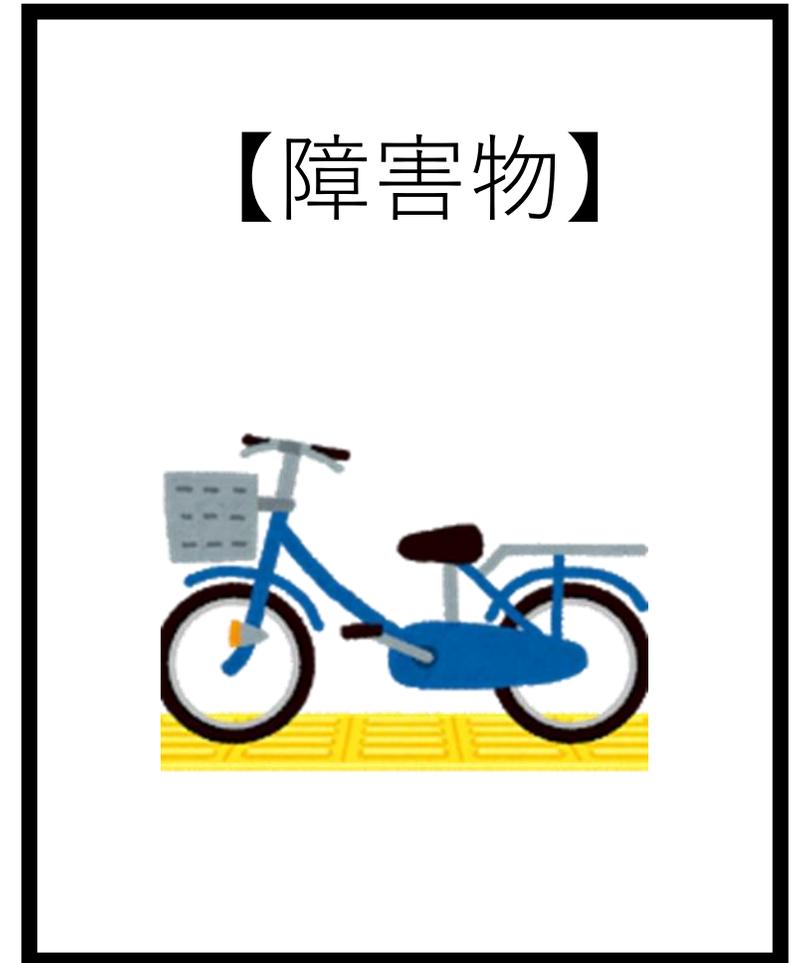
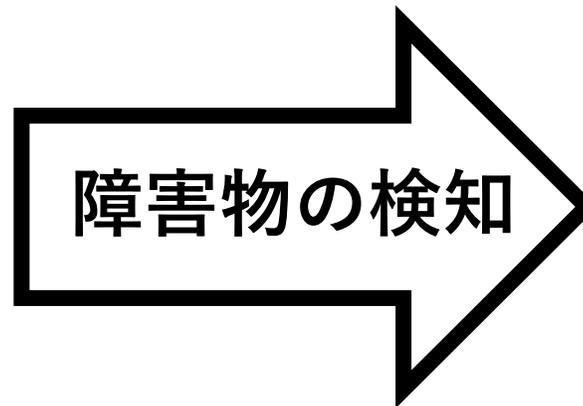
視覚障害者のための 空間危険提示システムの開発

中間発表

研究目的

- どんな場所でも利用できる実用性のある補助装置を開発
- 視覚障害者の事故で割合の多い衝突事故の減少

本システムの例



現在の開発環境

RealSense

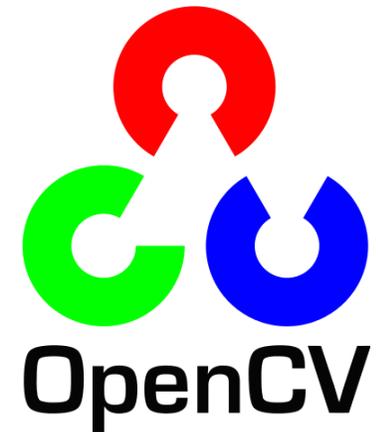
深度センサ



OpenCV

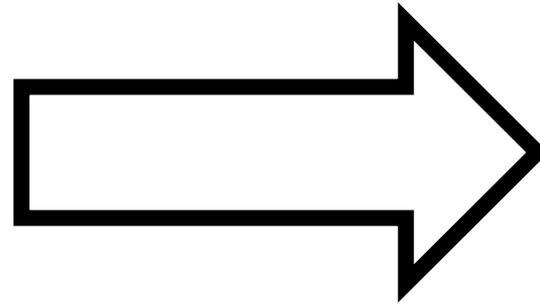
物体検出

特徴点抽出



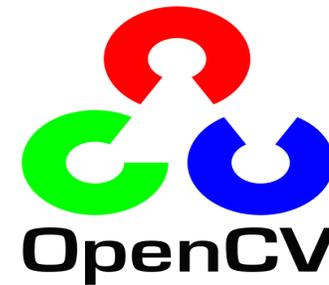
現在の研究状況

RealSense
を利用し障害物
を映す



言語はPythonを
利用

OpenCVで
障害物の検知、
距離の区別



今後の課題

- 障害物の検知方法の研究
- 障害者に対し障害物を検知した際の通知方法の見直し

